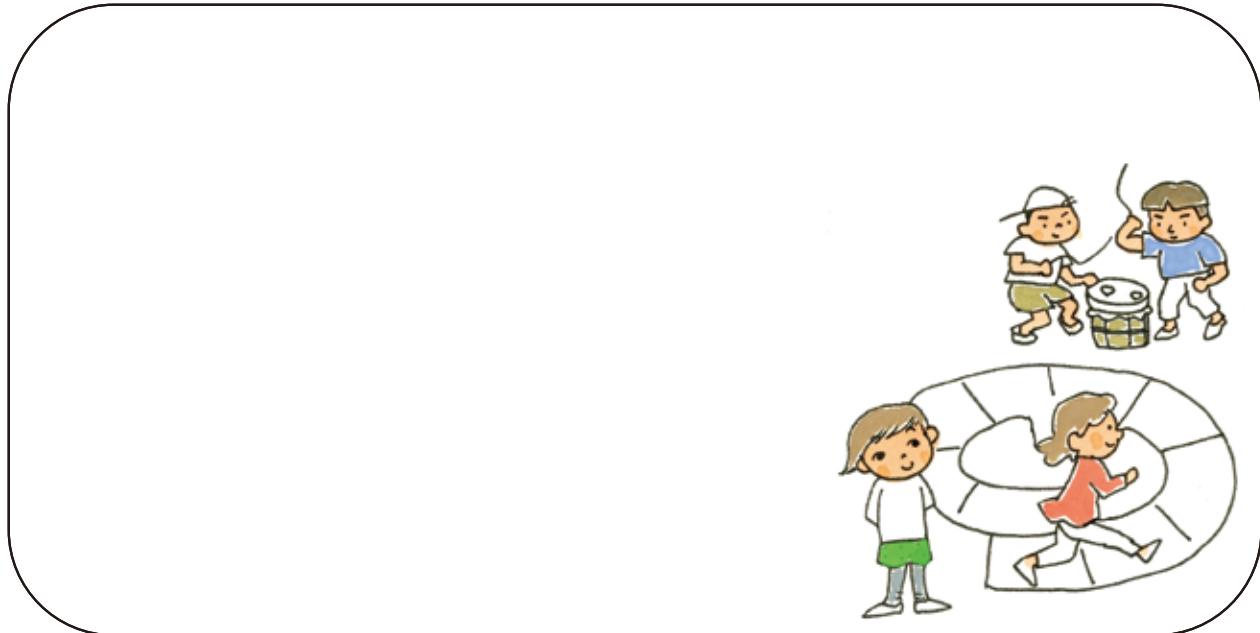


N-2 子どもたちにしてあげたいこと

ワーク1

- みんなさんが子どもの頃は、どんな場所で、どんな遊びをしていましたか？
思い出してみましょう。



【エピソード】

万次郎さんは、地域の子どもたちの安全確保に協力しようと、小学校の見守り隊に所属して、近所の子どもたちと毎日あいさつを交わしています。

ある日、いつもあいさつを交わす子どもたちが公園のベンチに座って携帯型ゲーム機で黙って遊んでいます。せっかく一緒に公園で遊んでいるのに、黙々とゲームをしている姿に違和感を感じ、声をかけました。

「せっかく広い公園で遊んでいるのに、どうしてゲームをしているの？」
すると、同じ町内で3年生のかつおくんが、「ぼくの家で遊んでいたけど、お母さんが掃除するから外で遊びなさいって追い出されたの。でも、ゲームしかすることがないし…。」

万次郎さんは、昔は山や川で夢中になって遊んだのに、今の子は外での遊び方を知らないのだろうかと考え込んでしまいました。そして、公園の池にザリガニがたくさんいたことを思い出し、「公園の池にザリガニがたくさんいるから、ザリガニつりをしてみないか？」と誘うと、「やるやる。」「おじさん、やりかた教えて！」と喜んで集まってきました。

万次郎さんが、持ってきた糸とスルメで子どもたちが楽しくザリガニつりをしている姿を、目を細めながら見ていると「この池は危ないので立ち入り禁止になっているんですよ！あの看板を見てください。」と声をかけられました。

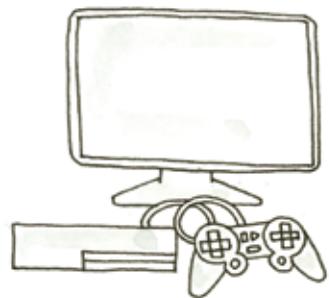
万次郎さんは、楽しく遊ぶ子どもたちと立ち入り禁止の看板を前に困ってしまいました。

ワーク2

- あなたが万次郎さんなら、これからどうしますか？

ワーク3

魅力的なテレビゲームやパソコンの普及で子どもたちの外遊びの経験が、少なくなっています。しかし、子どもたちの興味関心は、今も昔も変わりません。子どもたちの遊びや遊び場を制限しているのは、我々大人のほうなのかもしれません。子どもたちの健やかで豊かな成長のために、自分の地域でどんなことができるでしょうか？



- 何ができるかを考え、グループで話し合ってください。

An illustration of a young boy with brown hair, wearing a grey t-shirt, reaching up with both arms towards a small yellow toy airplane hanging from a string above him.

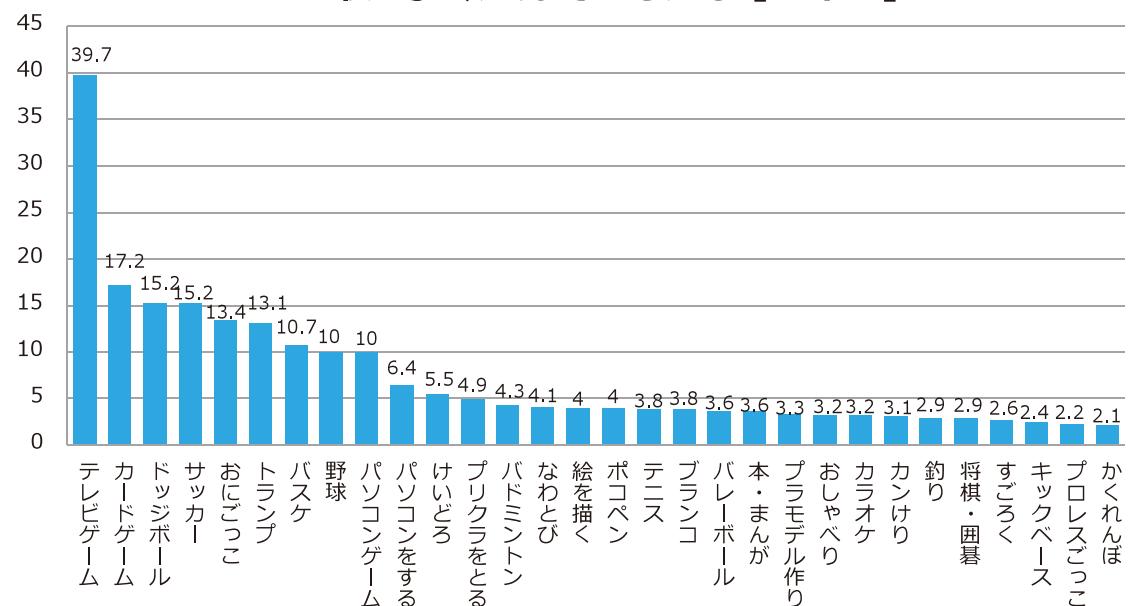
ふりかえり

- 今日の学習で印象に残ったことや気付いたことを書いてください。

「遊びたい」・「遊ばせたい」遊びについて

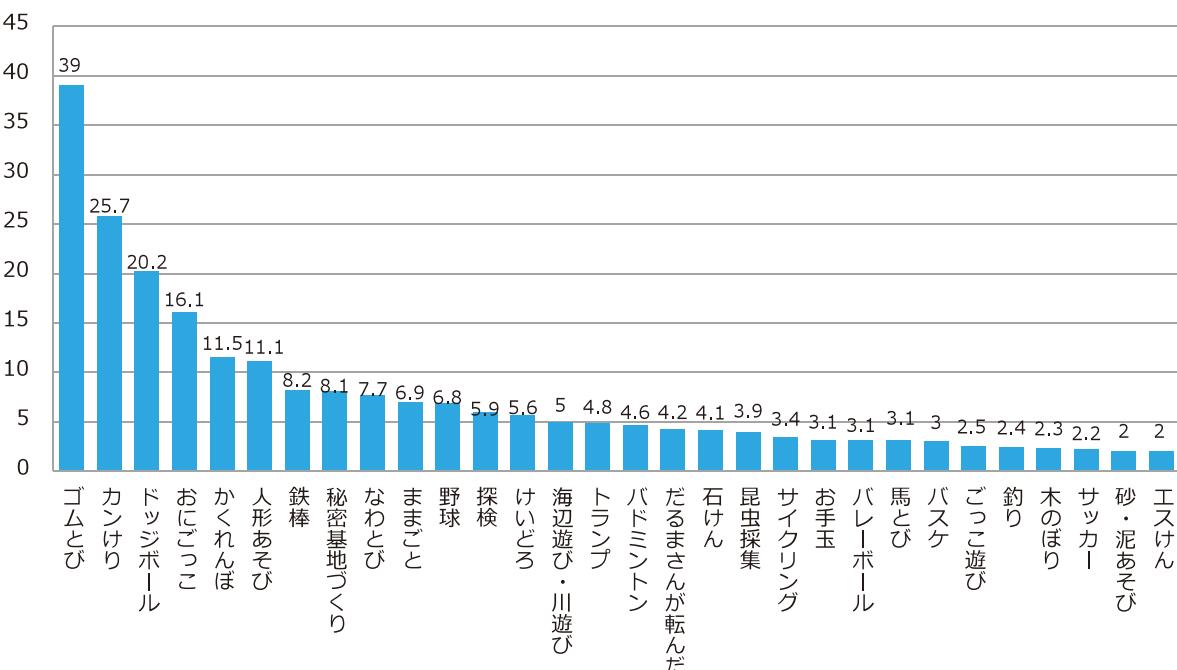
(%)

最近よく遊んでいる遊び [6年生]



(%)

子どもの頃よく遊んでいた遊び [保護者]



出典:平成16年3月「子どもの遊びに関する調査結果報告書」(全国アウトドア・マリンスポーツ in かながわ実行委員会・神奈川県教育委員会)

IV-2

子どもたちにしてあげたいこと

対象：地域の大人
時間：60分～90分程度

ねらい	子どもの豊かな成長のために、地域の大人ができる話を話し合い、子育て支援に取り組むきっかけとする。		
実施のポイント (評価など)	地域住民のほとんどは、子どもの様子が気になりながらも、実際に子育て支援に取り組む人は少数であることから、でることから始めてみようという地域の大人の意欲の高まりを引き出すことができる。		
事前準備	<input type="radio"/> 筆記用具 <input type="radio"/> 資料 <input type="radio"/> 付箋紙 <input type="radio"/> マーカー <input type="radio"/> 模造紙		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 <input type="radio"/> アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレイクの最後に3～4人のグループができるような活動を行う。 	
展開 10分	ワーク1 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃の遊びを思い起こすことをねらいとする。 グループで紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃の遊びを思い起こすことをねらいとする。 グループ内で自分が1番好きだった遊びを発表する。 	
15分	ワーク2 <ul style="list-style-type: none"> エピソードを読む。 解決方法を考える。 グループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの遊びの現状について気付き、大人にできることについて考えることをねらいとする。 グループ内で自分の考えを発表し、解決の方法を話し合う。 	
20分	ワーク3 <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の方法について考え、付箋紙にアイデアを記入する。 グループで話し合い、まとめた意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人ができる話を話し合うことで、子育て支援に取り組む意識を高めることをねらいとする。 ワーク2の解決法などを参考にしながら資料について説明を行い、グループでの話し合いに活用できるようにする。 模造紙に貼りながら、自分の地域でどんな取り組みができるか意見を出し合い、グループとしての取組をまとめ発表する。 <p>*グループでの話し合いは、ランキングで時間を短縮することも可能。</p>	資料(P.77) 付箋紙 模造紙
まとめ 5分	ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> 感想を記入する。 発表し合い、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習についての感想を記入し、グループ内で発表する。 時間があれば様々な地域で行われている子育て支援の取組を紹介する。 	実践事例